

8月の商業販売額0.3%減少、経産省調べ

Edited By LogisticsToday On 2015/09/30

経済産業省が28日発表した商業動態統計調査結果(速報)によると、8月の商業販売額は36兆7370億円で前年同月と比べて0.3%減少した。このうち卸売業は25兆1890億円(0.8%減)で、小売業は11兆5480億円(0.8%増)だった。季節調整済前月比は1.8%低下した。卸売業は0.4%低下、小売業は前年並みだった。

■卸売業、食料・飲料卸売業9.7%増加

卸売業を業種別にみると、鉱物・金属材料卸売業(前年同月比8.8%減)、その他の卸売業(7.1%減)、化学製品卸売業(5.4%減)、機械器具卸売業(1.9%減)、各種商品卸売業(1.2%減)、家具・建具・じゅう器卸売業(1.1%減)が減少した。一方、食料・飲料卸売業(9.7%増)、農畜産物・水産物卸売業(4.6%増)、医薬品・化粧品卸売業(4.6%増)、繊維品卸売業(1.7%増)、建築材料卸売業(0.5%増)、衣服・身の回り品卸売業(0.2%増)は増加した。

大規模卸売店販売額は7兆7142億円で11.1%前年を下回った。商品別にみると、一般機械器具(35.4%減)、非鉄金属(27.4%減)、石油・石炭(26.2%減)、鉄鋼(21.7%減)、その他の商品(15.9%減)は減少した。一方、その他の輸送用機械器具(45.2%増)、紙・紙製品(6.3%増)、繊維品(5.2%増)が増加した。

■百貨店・スーパーの販売額2.6%増

小売業を業種別にみると、械器具小売業(4.8%増)、織物・衣服・身の回り品小売業(4.5%増)、自動車小売業(3.8%増)、飲食料品小売業(3.5%増)、その他小売業(3.4%増)、医薬品・化粧品小売業(2.1%増)、百貨店など各種商品小売業(1.9%増)は増加した。一方、燃料小売業は10.6%減少した。

百貨店・スーパー販売額は1兆6057億円(2.6%増)で、このうち百貨店は4832億円(2%増)、スーパーは1兆1225億円(3.2%増)だった。商品別にみると、衣料品(1.4%増)、飲食料品(2.6%増)、その他(4.1%増)は増加した。なお、百貨店・スーパーの季節調整済前月比は、0.7%増で、このうち百貨店は3.4%増、スーパーも1%増だった。

百貨店の主力商品である衣料品は、身の回り品(前年同月比4.9%増)、婦人・子供服・洋品(0.7%減)、紳士服・洋品(0.4%減)、その他の衣料品(0.3%減)、全体では同1.1%の増加となった。飲食料品は1.4%減少。

その他は、その他の商品(11%増)、家庭用品(2.8%減)、家具(1.3%減)、食堂・喫茶(1.2%減)、家庭用電気機械器具(0.8%減)で、全体では6.9%の増加となった。

スーパーの衣料品は、身の回り品(5.9%増)、その他の衣料品(1.5%増)、紳士服・洋品(0.9%の増)、婦人・子供服・洋品(0.8%増)で、全体では1.9%の増加となった。主力商品の飲食料品は3.3%増加。

その他は、家庭用電気機械器具(24.8%増)、家具(4.5%増)、その他の商品(3.5%増)が増加、食堂・喫茶(14.1%減)、家庭用品(1.8%減)で、全体では3.9%増となった。

■コンビニ販売5.5%増

コンビニエンスストアの商品販売額及びサービス売上高は9961億円(5.5%増)だった。商品別ではファーストフードと日配食品が3793億円(8.5%増)、加工食品が2729億円(6.4%増)、非食品が2927億円(1.1%増)で、商品販売額は9449億円(5.5%増)となった。サービス売上高は511億円(5.3%増)だった。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>
URL to article : <http://www.logi-today.com/188576>
Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.